

令和2年6月3日(水)

伊勢志摩地域を舞台にした映画 『法定相続人』の制作が始動！

6月3日、伊勢志摩地域を舞台にした映画制作に関し、田中光敏監督、脚本家の児島秀樹さん、プロデューサーの東友章さん、大塚万紗子さんが市長を訪問しました。



この映画は、志摩市出身である故 山際新平さんの伊勢志摩を舞台にした映画を作りたいという遺志を、伊勢市出身の児島さんが受け継ぎ、国内外で数多く受賞する田中監督との出会いがきっかけとなり始動しました。

児島さんは「シナリオハンティングで伊勢志摩地域を回っているが、住んでいた当時見ていたものとは違うように見え、改めてすごい地域だと思い直した。豊かな海の物語を作り上げたい」と思いを語り、田中監督は「地域のかたたちの地元愛が強い。三重県下のたくさんのかたの力を借りて、とびきりの風景や人の思いを紡いでいきたい」と話してくれました。

中村市長は「鳥羽にも離島の路地や海女、海藻、真珠などすばらしいものがたくさんある。映画の力はすごいのでぜひいっしょに地域一丸となって盛り上げていきたい」と話しました。

映画は 2021 年秋に数カ月をかけて撮影を行い、2022 年の秋ごろに全国規模での公開を目指しています。